

「図面など重いデータをメールで送ろうとするとデータが重すぎて送れない」
「メールでやりとりするときもセキュリティが心配」
「請求書などのやりとりも多いが毎回メールを送るのが大変」

対応

- ①PPAP: パスワード付きZIPファイルをメール送信し、後からパスワードをメール送信する。
- ②無料のファイル転送サービスを利用して、ファイルを共有する。
- ③クラウドストレージサービスを利用して、ファイルを共有する。

主に上記の3つの方法があります

それぞれの方法につきまして説明させていただきます。

- ①PPAP: パスワード付きZIPファイルをメール送信し、後からパスワードをメール送信する。

メールでファイルを送信する場合パスワード付きZIPファイルを送信し、その後パスワードを別メールで送る方法(PPAP)は2020年11月内閣府、内閣官房でPPAP運用を廃止すると発表され、これに呼応して民間企業においても“脱PPAP”の動きが広がっています！

【なぜPPAPが問題なのか？】**【セキュリティ対策として効果が薄い】**

「暗号化ファイルとパスワードを別のルートで送る」というセキュリティ上重要なポイントが失われています。攻撃者がメールの1通目を盗み見できた場合、2通目のメールも盗み見できる可能性が高いため、添付ファイルとパスワードを分けて送信しても意味がないことが考えられます。メールが盗聴されている場合、ファイルとパスワードの両方が傍受されてしまうため、暗号化の意味がなくなります。

【ウイルス対策の効力を失わせる】

メールを受信する側のセキュリティリスクも高めます。多くの企業では、メールサーバーに届くメールをスキャンし、ウイルスの感染をチェックする仕組みが導入されています。添付ファイルのウイルスをチェックする機能をもつセキュリティ対策製品でも、パスワード付きのzipファイルの中身は検知できないことがあります。

- ②無料のファイル転送サービスを利用して、ファイルを共有する。

「セキュリティ管理の難しさ」と「ビジネス利用における履歴管理の欠如」が最大のデメリットといえます

【なぜ無料のファイル転送サービスが問題なのか？】**【セキュリティと情報漏えいのリスク】**

※一時的に外部のサーバーにデータを置くため、運営会社のセキュリティレベルに依存します。
※第三者にURLが知られたり、パスワードが突破されたりすると簡単に盗み見られる危険性があります。

【ファイル送信後の管理ができない】

「送信取り消し」や「アクセス権の変更」ができないサービスが多く、一度送ったファイルをコントロールできません。

【誤送信の危険性】

宛先(メールアドレスなど)を間違えてURLを送信してしまった場合、第三者にファイルを取得されるリスクがあります。

【広告の表示と機能制限】

無料プランではサイトや通知メールに広告が表示されるのが一般的です。また、保存期間や1回あたりの容量上限に制限があります。

総評: 無料サービスは個人利用や非機密データのやり取りには便利ですが、機密情報や重要な業務データを扱う場合はセキュリティ上のリスクを伴います。

③クラウドストレージサービスを利用して、ファイルを共有する。

PPAP対策にはオンラインストレージの活用が定石とされています。

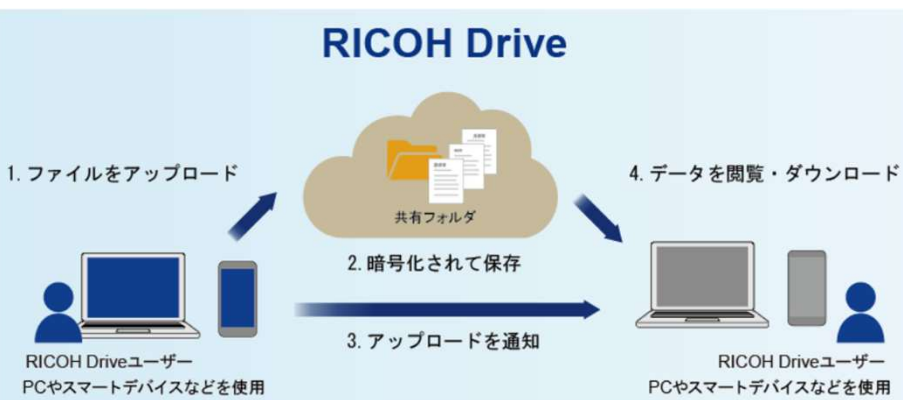
【クラウドストレージサービスには問題がないのか？】

【オンラインストレージのセキュリティが問題】

メールでURLを送り、別のメールでダウンロード用のパスワードを送信する方法は、パスワード付きZIPファイルを送信後に、解凍パスワードを別のメールで送る手法と大きな違いはありません。

そこで、セキュリティレベルの高いクラウドストレージを利用する必要があります

弊社も利用しております、RICOH Driveをご紹介します。



お使いのPCでブラウザやメール、WebDAV接続を使用したり、スマートデバイス(Android, iPhone/iPad)などを使用して、簡単にファイルを送信／受信して、共有できます。

- ①簡単にRICOH Driveを利用してファイルを届けることができます。
- ②ファイルは暗号化されて保存されますので安心です。
- ③Outlookにアドインすれば、Outlookで直接RicohDriveを利用できます。
- ④送信先を間違っても、ファイルをダウンロードされる前にRicohDriveの送受信BOXからファイルを削除すれば誤って相手先にファイルを見られることはありません
- ⑤RICOHの複合機からダイレクトにスキャンした文書をRicohDriveに保存できます。

■導入しやすい料金設定

- ・初期導入コストや維持管理コストを含めた月額でのサブスクリプションサービス。
- ・3種類の料金プランより、お客様のニーズに合わせた組み合わせが可能。しかも保管データは容量無制限。(ご契約プランごとに、月間あたりのデータアップロード容量に上限があります。)



価格(消費税別)

商品名	価格	総ストレージ容量	備考
RICOH Drive Starter	1,050円/月・ID	無制限	月間アップロード量上限:3GB
RICOH Drive Standard	1,600円/月・ID	無制限	月間アップロード量上限:7GB
RICOH Drive Pro	2,500円/月・ID	無制限	月間アップロード量上限:20GB

RICOH Driveの最小契約単位

1サービス契約あたり**3ユーザーIDが最小契約単位**となります。

管理者・ユーザーの合計で**3ユーザーIDからのお申込み**となります。

新規申込時は、「RICOHクラウドアプリケーションスタートパック」(5,000円:消費税別)

「サンシステム初期設定費用」(3,000円:消費税別)が必要となります

RICOH Drive

無料トライアル
実施中!

無料トライアル実施中！

RicohDriveを1ヶ月間無料でお使いいただけます。

お気軽にお問合せください・・・

よろしくお願いします

